

日本共産党品川区議会議員

**菊地貞二**

週刊区政ニュース第366号

08年12月07日発行

## 住民の声～これ以上の環境破壊は許せない

# 中央環状品川線トンネル工事へ

直径約12・5mのシールドマシンで目黒川および山手どおり沿いにトンネルを掘り抜きます。このマシンを発進させるための立て坑設置工事が平成18年10月から、八潮で進められていた。八潮立て坑は幅37m、深さ47m。この中に2基のシールドマシンを設置し、渋谷に向けてトンネルを掘り始める。2車線のトンネルが2



11月28日、城南中学校で品川線の本体工事となるトンネル掘削工事（シールド工事）の説明会がおこなわれました。参加した住民から、環境破壊の問題点や財源についての指摘があり、あらためて不要な高速道路建設の感を強くしています。

### 区民のくらしは危機的状況

### 一方で再開発と高速道路に8兆円

中央環状品川線は首都高3号渋谷線と湾岸線の間、9・4kmを結ぶ。うち8kmを直

本で、首都高会社が1本、都が1本を担当。首都高担当のトンネル掘削は来年開始。総事業費は4000億円の見込みで、この内2000億円は東京都が街路事業費の名目で拠出し開通は2013年度の予定となっています。品川区内では五反田・



南品川・八潮の3ヶ所にトンネル内の汚れた空気を強制的に排出する換気塔が建設されることとなります。

### しらせる気のない説明会



城南中での説明会には60〜70名が参加。トンネル掘削をおこなう沿道、片側50mの範囲にお知らせを配布した

としています。しかし、換気塔や通過車両の出入りがある地域では汚染された大気が大量に、しかも広範囲にわたって排出されます。更には山手どおり（環6）で日量3万6000台。品川線が開通すると5万1000台。山手通りで2万8000台と

減少するものの、合計では7万9000台で2・2倍化することになります。

東京都は通過車両がこれほど増加しても大気汚染は改善されると

強弁していますが、こうしたことを考慮すれば、お知らせの配布範



囲は少なくとも半径2〜3kmというのが常識ではないでしょうか。

### 赤字財政の東京都なのに・・・

参加者からは財源問題も出されました。

「金融危機が叫ばれ、



中小企業の倒産や解雇など区民のくらしが大

変なときに、2000億円もの税金を使ってまで建設する必要があるのか」という疑問です。

こうした声は当然です。本来は旧首都高速道路公団が計画した高速道路であり、税金を

投入するいわれはありません。しかも、建設費を出すからといって道路利用料金が東京都に入る訳ではありません。すべての利益は旧道路公団に入ります。

私たちの税金で高速道路を建設し、旧道路公団に「差し上げますのでお使いください」というやり方にだれが

### 税金のムダ使いは許せない

私も生活に

必要な道路建設であれば賛成します。し

かし、東京都の進める

都市再生路線は8兆円もの税金を再開発と大型幹線道路の建設に使うというものです。再



開発や高速道路の建設でくらしが良くなつたなど一度と

してありません。現在でも7兆円という財政赤字を増加させるだけの品川線建設は反対です。



納付できるでしょうか。

そんなお金があるのなら中小企業や雇用支援、高齢者支援に税金をまわせというのが当然です。

## 無料法律相談会 (生活相談は随時)

ところ すずらん通り事務所

日時 12月25日 (木)

午後6時〜8時



前日まで1157-421-0818までお電話をください。